

道 徳 科 学 習 指 導 案

指導者 高井 ゆき

1 日 時 平成 29 年 12 月 1 日 (金) 3 校時 (10:30～11:15)

2 学年・組 第 2 学年花組 23 名

3 主 題 名 家族のために <内容項目 家族愛・家庭生活の充実 C (13) >

4 教 材 名 ぼくのうちの夕はん (文溪堂)

5 ね ら い お父さんとお米とぎの練習をし、やる気になったまさおの気持ちを考えることを通して、父母を敬愛し、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立とうとする道徳的心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

家族は人が生まれて初めて所属する集団である。人は、家族の愛情に包まれて成長し、心身の安定を得ることにより、自分を取り巻く家族への尊敬と感謝の気持ちを育み、家族の一員として、積極的に家族の役に立とうとする態度を養っていく。児童の道徳性を育てる基盤は家族にあるとも言える。

しかし、家族の愛情は当たり前のものと受け止められがちで、意識されにくい。特に、この時期の児童は、家庭生活において受け身の立場であることが多く、能動的に家庭生活に関わろうとするところまでに至っていない。

そこで、この教材を通して、家族のありがたさについて考えさせ、感謝の気持ちや、親愛の情を育む機会としたい。そして、家族の中での自分の立場や役割を知り、家の手伝いを行って、積極的に家族と関わろうとする道徳的心情を養うことが大切である。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、道徳の時間や、学活での話し合いの場面で、周囲のことを考えた意見を持ち、積極的に発表することができるようになってきている。

手伝いについての事前アンケートによると、「疲れるから」「面倒だから」と、手伝いをあまりしない児童が 4 名いるものの、「家族が喜んでくれるから」「お母さんが大変そうだから」「お手伝いをするのが楽しいから」と、毎日手伝いをする児童が 2 名、時々はお手伝いをするという児童が 17 名いた。大半の児童が「家族のために自分ができるところをしよう」という思いを持っている様子が伺われた。

家族愛が人間を愛する基盤となり、様々な集団との関わりの基盤を築くことになることから、低学年のこの時期に、自分と家族の結びつきについて考えさせ、進んで家の手伝いをするなどして、家族の役に立つ喜びを感じられるような心情を育てることが大切だと考える。

本教材を通して、家庭にも積極的に働きかけ、手伝いという行為を通して、家族を敬愛し、進んで家族の役に立とうとする道徳的意欲や道徳的心情を育てたい。

(3) 教材について

初めは、「面倒だ。」「難しいから無理だ。」思っていたお手伝いを、家族のために進んで行き、家族の役に立とうという気持ちを持たせる教材である。

まさおは、お母さんが帰って来るまで好きな漫画を読んでいたにも関わらず、「お手伝いをしてほしい。」と頼まれると宿題を理由に断る。また、食事中に両親からお米とぎのお手伝いを進められても、「難しいから。」と断る。しかし、お父さんとの練習や、お父さんとお母さんの言葉により、「明日からお手伝いしよう。」と決意する。

お父さんと練習中のまさおの気持ちや、練習前後の気持ちの変化を捉えさせることを通して、家族の一員として、お手伝いをすることで積極的に家族と交わろうとする態度を育て、家族の役に立つ喜びを実感させたい。

7 考えを深め合う授業の工夫

- ・道徳ノートを活用し、一人ひとりが自分の考えを持てるようにする。
- ・補助発問をすることや、夕飯風景を役割演技させることで、まさおの気持ちを考えやすくし、ねらいに迫れるようにする。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の対応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	・お手伝いについて考える。	一斉	どんなお手伝いをしたことがありますか。 ・くつならべ ・おはしならべ	・ふだんのお手伝いを思い出させる。	
展開	・教材を読む	一斉	まさおが「そんなのむりだ。」と言ったのはどうしてですか。 ・めんどくさいから。 ・むずかしいから。 「明日からお米をとぐのはぼくに任せてね。」と元気よく言ったのはどうしてでしょう。 ・褒めてもらえて嬉しかったから。 ・できるようになって嬉しいから。 ・お母さんが喜んでくれたから。 ・お母さんもお父さんも嬉しそうだったから。 ・お母さんの大変さが分かったから。 夕飯が、いつもよりおいしく感じられたのはなぜでしょう。 ・まさおがといだお米だから。 ・みんなが嬉しい気持ちで食べているから。 お手伝いをすると、どんな良いことがありますか。 ・家族が笑顔になる。 ・お父さん、お母さんが助かる。	・「ぼくのうちの夕はん」を読む。 ・お父さんもお母さんも働いていて忙しい状況を押さえる。 ・宿題をやらずに、好きな漫画を読んでいたりすることを押さえる。	・パワーポイント ・挿絵等 ・発問カード
	・まさおがお手伝いをしなかった理由を考える。	一斉		・米とぎの様子を映像で見せ、まさおの練習を想像させる。 ・始めは、やる気がなかったまさおの気持ちの変化したのはなぜかを考えさせる。	・映像 ※お父さんとの練習で自信をつけたこと、両親に褒められたことが嬉しくてやる気になったことに気付くことができたか。 <発言・道徳ノート>
	・まさおがこれからお米とぎのお手伝いをしようと言った理由を考える。	個別 一斉		お米とぎを毎日しているのは誰でしょう。 ・夕飯の時の三人の会話を役割演技することで、まさお、お父さん、お母さんの気持ちを想像させる。	
	・お手伝いをするとどんな良いことがあるかを考える。	グループ 一斉		・お手伝いをすることで、家族が喜んで助かったりすることに気付かせ、自分と家族の結びつきについて考えさせる。	
終末	・振り返りを書き、交流する。	個別 一斉	今日の学習で、学んだこと、気付いたことは何ですか。 ・これからお手伝いをしよう。 ・お手伝いをし、家の人に喜んでもらいたい。 ・ちょっと難しいお手伝いもやってみよう。 ・お父さんやお母さんのために手伝えることは手伝おう。 ・お手伝いをすれば、自分もお父さんお母さんも幸せな気分になるな。	・家族のためにお手伝いをしようという決意ができるようにする。	※父母を敬愛し、進んで家の手伝いをしようとする気持ちを持つことができたか。 <発言・道徳ノート・観察>

9 板書計画

土曜日

だい かい どうぞ

ぼくのうちの夕はん

挿絵

「あしたから、お米をとぐのは、ぼくにまかせてね。」と、
元氣よく言ったのは、どうしてでしょう。

挿絵

挿絵

まそお

まそお

挿絵

まそお

夕はんの時

挿絵

10 道德ノート

だいに二十回 第四回 『あまのうすの夕なは』 十二月 一日

道とくノート

考えてみよう

名前 ()

◎まなおが、「あしたから、お米をとくのは、ほくほまかせてね。」と元気よく言ったのは、どうしてなのでしょう。

ふりかえり

今日のべんぎよくして思ったことを書き残しておこう。

◎じぶんの考えを聞いてみよう。

◎友だちの考えを聞いてみよう。

◎嬉しい

◎怒り

◎悲しい

😊

😡

😢

◎楽しい

◎静かな

◎元気

😄

😐

😁